

郷土

令和4年11月30日現在
世帯数.....2,680戸
男 性.....3,629人
女 性.....3,851人
合 計.....7,480人

発行／庄原コミュニティセンター
出雲市斐川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる庄原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、皆様方には当センターの事業推進に格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。さて、コミセンの活動は、地域の沢山の皆さんにボランティアで様々な役割を担っていただき行っています。例えば、コミセンには5つの専門部があり、4名～10名の部員の皆さんが、活力あるまちづくりを目指し創意工夫を凝らしながら活動していただいております。

この専門部も、より多くの人そして若い人にも参画していただきたいと思いますが、社会構造の変化からか新入部員さんがほとんどおられないのが現状です。持続可能な地域づくりを考えると次々に繋いでいただく次世代の人の参画が必要となります。本年は、一人でも多くの若手の方の参画を期待するところです。

まだ、新型コロナの感染が収まらず、本年も引き続きコロナ感染防止対策をきちんとしながら、今まで通り活気ある、そして利用しやすく親しみやすい庄原コミュニティセンターとなるよう職員一同努力いたします。今年も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸を祈念し新年のごあいさつといたします。

庄原コミュニティセンター センター長 原 悟司
チーフマネジャー 池淵 陵子
マネジャー 小松原由子・糸川 陽子・錦織 陽司

12/9
(金)

庄原なかよしおはなし会

ちょっぴり早いクリスマスを楽しみました!

～絵本と紙芝居とサンタクロースと～

放課後こども教室



クリスマスには少し早い日の放課後、庄原コミセンの集会室に元気な35名の子どもたちと5名のおかあさんの姿がありました。今回はクリスマスバージョンとして「絵本」「大型絵本」「大型紙芝居」の読み聞かせをし、盛り上がったタイミングで「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を歌っていたら、サンタクロースの登場!

プレゼントを受け取って「ありがとう!」「メリークリスマス!」と言う子どもたちの姿は本当に可愛らしいものです。準備や後片付け、当日の運営など大変なこともあります。絵本が好きで楽しみに来てくれる子どもたちがいる限り、この活動を続けていきたいと思っています。



11/11
(金)

大豆の刈り取り こども倶楽部

5月23日(月)に蒔いた大豆が収穫の時期を迎え、11月11日(金)に荘原幼稚園・荘原保育園・東部保育園の先生方と大豆の刈り取りを行いました。今年は大豊作！計24kgの大豆が収穫できました。この大豆は、年明けの1月～2月に各園の園児たちとみそとして仕込む予定です。仕込んだみそが食べられるようになるまで約半年。種を蒔いてから、食卓に上るまで1年以上かかるこの工程を、子どもたちも楽しんでくれることを願っています。



11/13
(H)

小学生防災教室・スケート教室

荘原小学校 PTA 保健体育部共催事業 / 青少年育成協議会協賛事業

健康

スポーツ部

自主企画事業

2年前に開催して好評だった防災教室・スケート教室を荘原小学校PTAさんとの共催事業として開催しました。昨年は、コロナ感染者数が急増したためやむなく中止。今年は、念願の共催第1回目です。親子での参加16組を含め、先生方を合わせた総勢64名で賑やかに開催されました。

防災教室

14時～15時30分
(荘原小体育館)貸し切りバスで湖遊館へ移動

日本赤十字島根支部の3名の講師の方にお世話になって防災について学びました。

低学年は防災カルタ取りで楽しく活動しながら、防災について説明を受けました。高学年は災害支援に使われる物資の入った段ボール箱を実際に持ったり、中身を確認したりしました。一箱20kg程の箱を災害時は何箱も運搬するそうです。体感する事で、災害現場の大変さを感じることができたようです。

次に、無言で静かに何もしない190秒と、楽しくゲームをする190秒の感じ方の違いを体験しました。楽しいとあつという間に過ぎる時間も、何もしないととても長く感じるということがわかります。活動の終末に「190秒という時間は、東日本大震災の時に実際に揺れていた時間です。」という説明を聞いて、その恐怖が甦った時間の長さに参加者も衝撃を受けていました。



参加者の感想より

- ・沈黙と作業の190秒。状況によって時間の感じ方が違う。日々、災害について考えていると思いました。
- ・用意したほうが良いものなど、身近で見てもよかった。私たちが災害時に協力できることがあるということも分かった。
- ・家族で話し合うきっかけになった。避難リュックが重いので準備したいと思いました。(保護者)

スケート教室

17時～19時
(湖遊館スケートリンク)

貸し切りのリンクで、約50名がのびのびとスケートを満喫しました。

指導は、島根県スケート連盟派遣の指導員7名(内3名は地元荘原出身の呂子裕さん、高橋裕也さん、長澤淳吉さん)と、現役の中・高校生スケーター3名(石原幸奈さん、錦織柚希さん、長澤世奈さん、3人とも斐川東中卒・在籍、内2名は荘原小卒)のボランティア。充実の指導体制で、4つのグループに分かれ参加者の技術に応じて指導していただきました。

「滑れるようになった!」「2年前より上手になったでしょう!」どの子ども笑顔いっぱい。また、「初心者の子どもをリンクの中央に連れて行ってハイハイの姿勢から指導するなんて目から鱗です。」と、指導方法に感心する声も。30分程度の指導でしたが、あつという間に上達しました。汗だくになって湯気が立つほど冷たいリンクで、充実した時間を過ごしました。



子どもたちの感想より

- ・お姉さんたちが教えてくれてうれしかったです。
- ・最初は不安だったけど、スケートをしている人がコツとかを教えてくれて、とても分かりやすく、最後は壁無しでできてうれしかった。また教室があったら行きたいです。
- ・スケートはやったことなかったけど、やってみると思ったよりも滑れました。生活の中で興味を持てないスポーツも目を向けてチャレンジしてみたいなと思いました。また参加したいです。

12/22
(木)

「ミニ門松」で彩り豊かなお正月を迎えることができました



ここ数年はクリスマスツリーやクリスマスリースなどクリスマスの飾りを作る事業を企画していましたが、今年度はお正月飾りを作ろうという話になり、「ミニ門松作り」を実施しました。

江角俊明さんを講師に迎えての「ミニ門松作り」に27名の参加があり、竹を切って作った器に松、竹、紅白の葉ぼたん、南天などを飾って新年を迎えるにふさわしい「ミニ門松」が完成しました。同じ

材料でも形や色が微妙に違うので、一人ひとり違う「ミニ門松」になりました。

門松は年神様が家に尋ね入るにあたっての目印だと言われています。元旦に家々に新年の幸せをもたらすために高い山から降りてくる年神様。このお正月は迷わずにそれぞれの家にいらしてくださいませたことでしょうか。

12/5
(日)

健康講座(県立中央病院 出前講座)

自主企画事業

「歯周病予防、治療であなたの持病が良くなるかも!？」

歯周病と糖尿病、心臓病、動脈硬化などとの意外な関係

島根県立中央病院 皮膚感覚器診療部長(歯科口腔外科部長) 尾原 清司 先生



日頃、自分の口腔内の健康についてどの程度意識していらっしゃいますか?「お口が健康だと、体も健康」と言われるほど、口腔内の病気は様々なところに影響を与えるようです。(以下講義内容の一部です)

歯周病が体に与える影響は?

・動脈硬化や心筋梗塞、糖尿病などにも大きく関り、病状を悪化させる。

糖尿病

←(高い相関性)→

歯周病

歯周病にかかりやすくなる

血糖のコントロール不良

【どちらも影響し合って悪化していく】

・子宮にも影響を与え、早産、低体重児出産のリスクが何倍も上がる。
・舌の筋肉が衰えると、誤嚥性肺炎につながる。



予防は?

- ・1日3回3分間歯磨き
歯の上下、前歯、裏表をしっかりと磨く順序を決めて磨き残しが無いように工夫
- ・舌の運動でフレイル予防
- ・歯科医での定期的な歯石除去やメンテナンス



「健康・スポーツ部」では、引き続き健康にかかわる講座や講演やイベントを開催します。来月2月11日(土)、3年ぶりに開催される「三世代交流力ローリング大会」の会場でも、健康に関わるブースを設けます。健康チェックができる特設ブースや、軽スポーツコーナーなども計画しています。4月以降は、毎年恒例となった「さくらウォーク」や、大黒山・高瀬山などへの山登りも実施する予定です。健康・スポーツ部関連の事業に多数参加していただきますようよろしくお願いします。

諸外国では、小さいころから口腔ケアは、とても大切なことと教えられるようです。尾原先生が「笑い話になりますが。」と前置きし、海外でデートを断る口実に「今日は、歯の点検に病院へ行かなきゃならないからデート出来ない。」と云えば、成程しょうがないねと相手も理解してくれると教えてくださいました。日本は、諸外国に比べると、口腔ケアに対する取り組みが30年ほど遅れていると言われていました。もっと意識しなければならぬと感じました。

講座に先立って行われた理学療法士の祝部俊成さんによる「ちょっとしめになる豆知識」では、有酸素運動によって分泌されるマイオカインは、病気の予防、口腔内の健康にも効果があるというお話がありました。縄文人が一回の食事で6000回噛んでいたのに対して、現代人は600~1000回に減っているそうです。噛むことで、胃腸への負担をやわらげ、歯周病や口臭予防にもつながるそうです。

参加された方からは、「親しみのあるやさしい講座だった。」「体とお口の健康の関連がよく分かった。」「ベロの体操などやってみようと思う。」「別のテーマでも講座を開催してほしい。」等の意見が寄せられました。

11/12
(土)

リレー講座 第2回

「私たちの荘原」のルーツをたどる 「軍原古墳と神庭岩船山古墳」

まちづくり部



自主企画事業

講師 島根県立三刀屋高等学校
教諭 大谷 晃二 さん

今年度第2回目のリレー講座が開催され、古墳に関心のある方々が多数聴講されました。講師には、古墳に関する調査研究に取り組まれている島根県立三刀屋高校教諭の大谷晃二さんを迎えて、荘原地区に存在する2つの大型古墳について、古墳の形、石棺、出土品の特徴や地域間の交流などについて、写真や測量図などで分かり易くお話をいただきました。

この2つの古墳の特徴から、当時の豪族たちの地域間交流の様子に思いを馳せることができる貴重な歴史遺産であり、古代から発展してきた誇れる地域でもあり、今後、さらなる調査により、歴史が変わる発見につながるかも知れませんかとの期待あるお話でまとめていただき、とても有意義な講座となりました。



「軍原古墳」

「軍原古墳」は、約30mの円墳で、古墳時代中期の築造と云われています。大正15年の発掘調査で、人骨、南海産貝輪、埴輪、勾玉、管玉、大刀などの埋蔵物が発見され、東京国立博物館に収蔵されています(人骨・大刀を除く)。

珍しい点としては、石棺が「組み合せ冢形石棺」で、石棺の底石がなく砂利が厚く敷かれており、九州の古墳の特徴を有していること、南海産の貝輪は、九州で製作されてこの古墳の主には送られたものとされ、この古墳の主は、九州との交流がある豪族であったと考えられています。



「神庭岩船山古墳」

「神庭岩船山古墳」は、荘原小学校の敷地があり、約50～60mの前方後円墳であり、軍原古墳の後継の豪族のものであろうとのことでした。その埋蔵物は認められず、発見された埴輪の破片の刷毛目の特徴から、5世紀末～6世紀初頭の築造であろうとのこと。また石棺の形は「舟形石棺」であるが、棺身と蓋の合わせ目には、印籠口の切り込みが施されている点が特徴的であり、「出雲型船形石棺」とも呼ばれ、松江地域に広く見られる石棺で、松江市域の豪族との関係がうかがえる、とのことでした。



荘原コミセンまちづくり部 深田和美

11/26
(土)

講座第3回

「私たちの荘原」のルーツをたどる 「湖上の船戦と高瀬城」

まちづくり部

自主企画事業

講師 島根県中世史研究会世話人
山根 正明 さん

山根先生からは「湖上の船戦と高瀬城」と題し、米原氏の動きや高瀬城の役割などについて、とても興味深いお話を伺うことができました。

以下、その概略をまとめさせていただきました。

高瀬城主は戦国時代に斐川一帯に君臨した尼子氏の優力な家臣で、出身は近江(滋賀県)米原(まいばら)郷で在地名をとって米原(よねはら)氏と称した。

米原綱寛は、尼子氏の歴代の城主経久、晴久、義久に仕えていたが、永禄5年(1562)毛利元就が出雲に攻め入ると毛利と誼を通じ毛利方の家臣となり、尼子軍と戦うことになる。

富田城が元禄9年(1566)毛利軍によって落城すると、綱寛は降伏勧告の使者をつとめている。

元禄11年(1568)毛利、大友(九州大名)の抗争が再燃すると、綱寛は毛利軍の一翼として九州に渡り、立花城攻撃に参加していた。

ところが翌年、山中鹿助ら尼子の遺臣が尼子勝久を擁して尼子再興のため出雲に攻め帰ると、綱寛も動揺し尼子氏に復帰していった。

元亀元年(1570)毛利軍と尼子勝久軍は、広瀬の布部山にて大激戦を展開したが、尼子軍は大敗していった。

尼子軍最後の攻防戦は、勝久の籠る真山城(松江市)と高瀬城で、真山城から高瀬城へ救援のため、兵糧米や軍需物資を宍道湖上輸送を行ったが毛利軍が学頭の湯の川口への陸揚げを阻止したため、学頭沖で幾多の船戦が展開されたという。

一方陸上では、毛利軍は高瀬城の向城としての島根半島の蕎ヶ巣城と手崎城(平田)より攻め、高瀬城周辺を稲、麦薙ぎを行い、ついに高瀬城二の丸まで攻め入り、元亀2年(1571)毛利輝元軍によって高瀬城は落城していった。綱寛は勝久の籠る真山城に逃れるが、ここも陥落し、勝久は隠岐へ走った。

綱寛は尼子氏と離脱し京に上り、出家して可春と名を改め、余生を送ったという。また、米原氏のゆかりの方が今も斐川町内で住み続けておられる。

荘原コミセンまちづくり部 保科晴夫



高瀬山より眺めた宍道湖西岸地域

11/20
(日)

栄養バランスが良く、彩りの良い、 美味しいお弁当ができました！



荘原コミセン女性クラブ 料理部

「料理工房 創」の岡澤明美さんを講師に迎え、JAひかわあぐりキッチンふあみゆにて料理教室を開催し、17名の参加がありました。

野菜、肉、魚などを使った栄養バランスが良く、彩りの良い、美味しいお弁当が完成し、家に持ち帰っていただきました。特にバラバラになる「ガーリックピラフ」の作り方は、とても参考になり、実際にバラバラと仕上がり感激しました。

コロナ禍ですが、感染対策をしっかりとって無事に料理教室を終えることができ、嬉しく思いました。

令和5年度もみなさんと楽しく「料理部」の活動ができることを願っています。



献立

- ・鶏手と豚肉の甘辛炒め
- ・切干大根の柚子マリネ
- ・卵のムニエル
- ・ガーリックピラフ

11/21
(月)

女性部の交流会を開催 ～斐川地域の元気パワーが集結！！



3年前から新型コロナウイルスの影響を受け、今なお行動範囲が制限されるなか、各コミセン女性部の活動情報が知りたいという声にこたえて、このたび久しぶりに交流会を開催しました。

荘原、伊波野、出西、久木、直江の女性部役員さんに出席いただき、各女性部の紹介と活動状況について発表がありました。

それぞれ形態は違っても地域のためにいろいろな分野で活躍している様子がわかり、改めて女性のパワーを感じました。

今回は、時間もなくて深掘りすることができませんでしたが、今後の活動の参考になり、有意義な時間だったと思うとともに今後もこの交流会を続けていきたいと思えました。

また、来賓として来られました井上夏穂里副市長さん、斐川町の女性部の立ち上げにご尽力された出雲市議会議員の保科孝充さんに現在の斐川地域の女性部の活動を知っていただけ良かったと思います。



12/3
(土)

美しい歌声に包まれて… 喫茶部 クリスマス会を開催



「喫茶部やまもも」はコロナのため、ここ3年近くは会員のみの開催でしたが、今回は地域のみなさんにもご案内して開催し、48名の参加がありました。

「まめで元気で過ごして欲しい」という思いを込め、手作りの白玉ぜんざいを食べていただきました。いくつになってもクリスマス、サンタクロースという子ども心の淡い気持ちは癒しをくれ、集うみなさんの笑顔は本当に楽しそうでした。そのような笑顔あふれる活動のお手伝いができることは、私たち「やまももの会」の会員にとっても幸せな時間となりました。

「混声合唱団クリスタルコール平田」から14名のみなさんを迎え、クリスマスソング「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」「長崎の鐘」「ふるさと」など馴染みの歌、懐かしい歌を軽快なトークとともに届けていただきました。男女混声による美しいハーモニーが集会室から見える12月の夜空とマッチし、心が澄み渡るひとときとなりました。

当日は、フードドライブ活動として各家庭で使い切れない未使用の食品や日用品を持ち寄り、社会福祉協議会に寄贈しました。

令和5年度はぜひ、福祉施設の方などにも来ていただき、コロナによる制限を受けない和やかな喫茶ができる良い年になることを期待しています。



11/5
(土)

「備えあれば憂いなし」防災訓練を行いました！

荘原地区災害対策委員会



コロナ禍のため実施を控えていた防災訓練を3年ぶりに新田上自治会・新田下自治会にご協力いただき実施いたしました。

当日は、穴道湖の堤防が決壊し床上浸水の危険性が高まったという想定で訓練を行いました。各自治会からは一世帯1～2名の方にご参加いただき、災対役員、荘原地区防災担当市職員も各自治会に向きました。本部からの避難指示に基づいて、各自治会の連絡網で全世帯へ避難指示が出され、各自治

会の公民館へ一時避難。全世帯の避難・安否を確認後、段ボールの簡易ベッド・簡易トイレの組立や非常食づくりの体験、反省会を行っていただき自治会での訓練は終了しました。

その後、各自治会の代表者数名と災対役員・担当職員による反省会・研修会を荘原コミセンで実施しました。反省会では、問題点や改善点など活発な意見交換が行われ今後の防災の在り方に参考になりました。また、防災安全課の研修では、地域の防災力の必要性や正常性バイアスが逃げ遅れの一要因になるなど防災のポイントを学びました。訓練をしないと分からないことも多くあったと感じています。改めて訓練の必要性を感じました。



11月

介護予防体操&レクリエーションで体も心も元気に!

ふれあいサロン
おいでませの会

11月の「おいでませの会」は、1班(11/8)「金太郎の家」の古川容子さん、松原麻希さん、2班(11/17)「なのはな園」の吉岡亮真さん、3班(11/25)「なのはな園」の川井真生さんに来ていただき、介護予防体操やレクリエーションで体を動かしたあと、健康についての話を聞きました。

専門の講師による指導を受けながら思いきり体を動かし、講師さんのトークの面白さに参加者からは笑顔があふれていました。体もほぐれ、健康や栄養について学ぶこともできました。

12月

クリスマスツリー、ミニ門松作りで
年末年始を心豊かに!

12月の「おいでませの会」は、各班のボランティアさんがアイデアを出し合いミニ門松やクリスマスツリー作りの準備をしてくださいました。竹やペットボトルの容器作り、クリスマスツリーの準備に大奮闘され、素敵な門松やクリスマスツリーが完成しました。

どの班のみなさんもとても楽しそうに作っておられ、今年最後のサロンを笑顔いっぱいでも事に終えることができました。

11/15
(火)

地域小サロン

みんなで支え合い、声を掛け合って10年目に入りました!

秋桜サロン



地域の支え合いと居場所作りを目的として始めた地域小サロン「秋桜サロン」が、この11月に10年目となりました。

グラウンドゴルフで体を動かした後、健康・歴史・特殊詐欺の話など毎回様々なジャンルの話を聞き、それについてみんなで語り合っています。歌をうたうこともあります。

コロナ感染者が増えると中止にすることもあります。閉じこもりは介護状態へとつながる引き金になるため、無理のない範囲で続けています。

11月のサロンでは、荘原コミュニティセンターのセンター長からコミセンの活動、役割について、また、地域の課題、子どもたちの教育について話していただきました。最後に「頭の体操」をして脳を活性化することができました。

12/22
(木)

23日も予定していましたが荒天のため中止しました。

歳末パトロール～青色防犯パトロール隊～

荘原地区青少年育成協議会
荘原子どもの安全を守る会

22日は小学生の下校に合わせて15時から約1時間かけて、学頭、神庭、三緒、上庄原、荘原町部の各所を巡回していただきました。斐川交番のバトカーも出動していただき、多数の皆様のご協力がありました。日頃から児童の下校時の安全確保や地域の防犯に尽力いただいています。年末のお忙しい中、本当にありがとうございました。



青パト隊・見守り隊 隊員募集中!!

緑のジャンパーを着た方や青色の防犯ランプをつけた車を街中で見かけられることがあると思います。地域の安全は地域のみならずという有志の方のご協力によって、見守り活動は維持されています。青パト隊、見守り隊の皆さんの活動は、まちの安全安心確保と犯罪の抑止につながっています。青パト隊・見守り隊は協力していただける方を随時募集しています。

詳しくは、荘原コミセン(電話72-4600)までお尋ねください。





写真でたどる荘原

Vol.4

あの日あの時～そして現在

まちづくり部

出雲空港は、出雲市の東の玄関口として地元の住民はもちろん、県外からの観光客やビジネスマンなどに利用されています。

出雲空港の開港は、昭和41年6月30日、就航は昭和41年7月11日で、初フライトは出雲大阪線が東亜航空のYS-11、次の日、出雲隠岐線がヘロン機が使われていました。その後56年もの月日が流れた今は、「出雲緑結び空港」の愛称で親しまれ、観光、ビジネスを振興する上で島根県、出雲市にとってなくてはならない交通機関となっています。また、子どもたちの人気スポットにもなっています。



▲就航時の出雲空港(昭和41年7月11日)

飛行機を一目見ようと、たくさんのお客さんで賑わっています。
(写真提供：出雲市役所)



▲現在の出雲空港

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

お礼



●しめ縄のご寄贈

毎年、宇賀田 耕さんが立派なしめ縄を作ってください、荘原コミセンに飾らせていただいております。今年も立派なしめ縄を手作りしてくださいました。おかげさまで新年を気持ちよく迎えさせていただいております。

●ご寄付いただきました

荘原コミュニティセンターにご寄付いただきました。地域のために有効に使わせていただきます。ありがとうございます。

金一封 ひだまりの会 様

●荘原コミセン年末大掃除

12月14日(水)、荘原コミセンの教室・サークルの皆さんにコミセン内の大掃除を行っていただきました。この日は荒天だったにもかかわらず、たくさんの方に参加いただきました。普段なかなか手入れできないようなところも一生懸命きれいにしてくださいました。おかげさまできれいなコミセンで新年を迎えることができました。大掃除に参加してくださった皆さん、ありがとうございました。



令和5年度 荘原コミュニティセンター 団体育成補助金のご案内

～荘原地区の元気な団体を応援しています～

対象：地域の事業及び活動を行う荘原地区の団体、グループ(営利を目的としない)を募集します。

目的：各団体・グループ育成支援により、地域活性化につなげる。

助成額：1団体につき2万円程度(5団体)

締め切り：3月17日(金)

各自治会の環境委員の皆様へ

令和4年度の「環境美化活動報告書」の提出を、2月末までにお願ひします。報告書の提出がなかった場合、活動実績があっても自治会環境美化活動報告書一覧に掲載できませんので、ご注意ください。

出雲市環境保全連合会荘原支部



皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。

香典返し 金一封
錦織 大祐様
(大倉自治会)

ご寄付
御礼